



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

2011 - 2012
杉戸中央ロータリークラブ 週報
会長 真中博克
幹事 深瀬英太郎
会報・雑誌委員会 細井健司

杉戸中央ロータリークラブホームページ <http://www.sugito-chuo.com>

杉戸・杉戸中央ガバナー公式訪問



でき、今後の生き方に役立ったと思います。人生には時間に限りがございます。多くの人たちと出会い、自分にプラスになるようなものを少しでも吸収し、よりよい人生を送りたいと日頃このように考えております。私は、ロータリーをこのような位置づけで考えております。今日は、皆様とともに勉強し大いに語り合い、有意義な一日を送りたいと思います。本日は、よろしくお願いたします。

会長あいさつ

杉戸中央 RC 真中会長

本日の合同公式訪問に際しましては、杉戸 RC に大変お世話になりました。まるで杉戸 RC のクラブ協議会におじゃまさせて頂いているような気後れした感じでございます。



先日ある雑誌に興味深い記事がありましたので、ご紹介したいと思います。人間は、美味しそうな物をみると口の中に「唾液」が溜まります。それが、無意識に口の中からあふれ出すと「よだれ」になるそうです。唾液には、耳下腺・顎下腺・舌下腺という三大唾液腺と、たくさんの小唾液腺があり、そこから1日に1~1.5Lもの唾液が出るそうです。

唾液には、「洗浄作用」と消化酵素による「消化作用」、食後酸性に傾いた口中を中性に戻す「緩衝作用」、歯の表面を再生し虫歯を防ぐ「再石灰化作用」、細菌の発生を防ぐ「抗菌作用」、保湿効果による「粘膜保護作用」という6つの働きがあります。加齢やストレスなどで唾液の分泌が低下すると、口臭や歯周病・虫歯・味覚障害の原因になるそうです。ある雑誌というのは、実は「ロータリーの友 7月号」で、この唾液分泌を促すマッサージが載っております。興味のある方は、ご一読を。

第843回 例会2011. 8. 2

移動例会12:30点鐘 (和泉屋)

司会 下津谷幹事(杉戸 RC)

点鐘 篠原会長(杉戸 RC)

君が代

ロータリーソング 奉仕の理想

四つのテスト唱和 廣井会員

ロータリーの綱領 真中会長(杉戸中央 RC)

会長あいさつ

杉戸 RC 篠原会長

本日は、杉戸 RC・杉戸中央 RC の合同ガバナー公式訪問として、三國ガバナーをお迎えすることができ、大変喜ばしく思っております。そして、会員の皆様方にはご協力頂きましてありがとうございました。



私が、ロータリーに入って良かったなとつくづく思うのは、異業種の方々と交流を持つことができたことです。人と接することで、思いがけない出会いや、生きていく上での様々なヒントを得ることが

幹事報告

各クラブ幹事

- 米山奨学部門より、平成 23 年 8 月 6 日(土) ラフレさいたまにて開催される部門セミナー・グループセッションの案内が届いております。

卓話

第 2770 地区ガバナー 三國 明様

本日は公式訪問の機会をいただき有り難うございます。また、日頃より地区の運営には多大なご協力を賜り感謝申し上げます。貴クラブは創立以来多彩で効果的な奉仕活動を展開され、かつまたあまたの地区委員を輩出されここに感謝申し上げると共に敬意を表します。



さてすでにご案内の通り今年度の RI 会長はインド出身のカルヤン・バネルジー氏です。そして RI の今年度のテーマは「心の中を見つめよう、博愛を広めるために」でございます。

強調事項は家族、継続、変化です。世界平和の出発点は健全な、愛に満ちた家庭にあります。今日の世界の諸問題のかなりの部分は家庭や家族愛の崩壊によるものです。特に母と子の問題が重要であります。私たちの奉仕は究極的には世界平和の樹立であります。奉仕活動により社会に大きな影響を及ぼし、改善を図るためにはある程度のスケール感のある奉仕活動をする必要があります。そして継続性が要求されます。これが第2の強調事項である所以です。かつて、ポール・ハリスは、ロータリーの歴史は何度も書き換えられるだろうと言いました。前例がないという言葉ほど、世界やロータリーの発展を妨げるものはない、とも言いました。今や、第3次の産業革命とも言われ、情報化、グローバル化の真最中。世の中が大きく変化しつつあります。私たちロータリーもそれに対応して、勇気を持って、大胆に変革を遂げなくてはなりません。変化が第3の強調事項になりました。ロータリーの発展的継続の為の変化であります。

この数年来、RI は未来の夢計画を初めとして、新長期計画、六つの重点分野、広報の重視、新しい四つの試験的プログラムなど次々と変革を仕掛けてきています。私たちの後を継ぐ世代にどうアクセスし、ロータリーを語ったらよいでしょう。この度のニューオrlinズ世界大会でもソーシャルネットワ

ークを使ったコミュニケーションや広報が活発に取り上げられていました。

今年度の地区の活動テーマを、ロータリーに新風を、とさせていただきます。リスクを恐れず、イノベーションを起こし、行動重視の奉仕活動に邁進いたしましょう。

重点項目として、ストップ・ザ・会員減少、新世代の育成、財団への協力、内なる広報と外への広報の充実などを掲げました。このうち会員増強については、なんと言ってもクラブの活性化であります。クラブ運営に当たっては、ロータリーの基本を大切に、ロータリアンが輝いて生き生きとして奉仕活動している姿、ロータリアンに誇りがよみがえるように努力しましょう。クラブ全員で取りかかれる目玉となる奉仕活動プログラムの発見に努めましょう。そして、親睦です。これらを一言でいうと、クラブの活性化であります。これが出来れば黙っていても会員増強になります。共に奉仕をする仲間作りであります。新世代やプログラム学友の育成に今まで以上に力を入れましょう。

会長にお願いしたいことは、なんと言ってもクラブの棚卸しです。そして中長期計画です。国際ロータリーのホームページは多くの参考になる資料やアイデアに満ちています。是非、ひも解いて下さい。その他に RC(ロータリーコーディネーター)や国際ロータリー事務局のクラブ、地区支援担当職員などはすばらしい力になってくれます。クラブ活性化のために遠慮なくご活用下さい。

三國年度の地区の新しい重点的取り組みは、会員増強の三位一体的取り組み、高卒生就職支援活動、青少年ボックス新設、大震災復興支援チームによる支援活動、会員満足度調査、地域への広報活動の強化、であります。

今、国際ロータリーで何が問題になっているのか。国際ロータリーは何処へ行こうとしているのか。国際ロータリー会長を輩出する第 2770 地区としての誇りと責任を一人一人の胸にエンブレイスし、日々の奉仕活動と親睦にチャレンジしましょう。

出席報告・スマイル報告

若木会員

会員数	出席	欠席	MU	出席率
24	12	12	6	75.00%

8/2 ガバナー公式訪問クラブ協議会



長期・年次目標委員会

真中会長

2007 年度に始まった「あいさつ運動」も定着し、翌年からの「エコキャップ収集」も地区で 3 位の収集成績を収め、当クラブ看板になりつつあります。そして今年度は、杉戸町の中高校の吹奏楽部を支援する事業を計画中です。演奏会を開催し、各校間の親睦を図るとともに、参加校には毎年部費の支援をしていきたいと考えております。

講評(杉戸中央)

ガバナー三國 明様

杉戸中央 RC は、あいさつ運動、子宮頸癌についての講演会、エコキャップ収集など、お金をかけないで効果のある、いかにもロータリーらしい奉仕活動を行っていると思います。今年度は、吹奏楽部の支援をするということでこれも大変すばらしい活動だと思いますので頑張ってくださいですね。クラブ内には、長期・年次目標委員会がないようですが、会長さんが理事役員の方々と話し合っただけで方向性を決めていくそうなので、これはいいことだと思います。

会員増強・広報委員会

栗原会員・菅原会員



増強は、親睦委員会と連携をとり、大会防止に力を入れていきたいと考えております。また、広報は新事業の PR と共に新世代の中高校生にもロータリーに関心をもってもらえるよう、ホームページの工夫もしていきたいと思っております。

講評(杉戸中央)

ガバナー三國 明様

ロータリーには、そのクラブによってそれぞれの文化や伝統、歴史があります。ですから、各クラブで広報のパンフレットを是非作って頂きたいと思っています。そして、それを新会員の勧誘や何かの行事の際に広報として配布することができます。また、ロータリアン以外の人に、「ロータリーとは何ですか?」と聞かれた時に、皆さん何と答えるでしょうか。きっと色々な答えがあると思います。しかし、突然聞かれると、なかなか答えられない質問だともいえます。ですから、一人ひとりが心の中で、その答えを作っておいていただきたい。聞かれたときに簡潔に答えられること、そういうところから、ロータリーというものが浸透していくのでは、と考えています。

奉仕プロジェクト委員会

渋谷会員

継続事業である「あいさつ運動」の充実と、「エコキャップ収集」の拡大に今後も力を入れ、奉仕活動を通じ、地域の皆様に杉戸中央 RC の存在と、その活動を知って頂けるよう務めて参りたいと思っております。



講評(杉戸中央)

ガバナー三國 明様

両クラブとも地域に密着した素晴らしい奉仕活動を行っていると思います。しかし欲を言えば、もう少しロータリアンでない一般の人を巻き込んだ活動をして頂きたいと思っております。もしくは、ロータリーが浸透するようなちょっとした仕掛けを考えて頂きたいですね。

財団プログラム委員会

廣井会員



財団の使命、プログラムを理解し、寄付目標(会員一人当たり 200ドル、恒久基金 1 名 1000ドル)を達成したいと思っております。財団という、寄付目標達成というイメージが先行しますが、クラブとしては、地区補助金を引き出せるような事業計画も大切です。当クラブの今年度の新事業も継続して発展させ、是非、補助金を有効利用できるように事業にしていきたいと思っております。

講評

ガバナー三國明様

皆様ご存知だと思いますが、米山、財団ともにすべての寄付金は、税的優遇の対象になりました。先ほど廣井さんに説明してもらいましたが、地区補助金を是非利用して頂きたいと思います。

財団というと、どうしても寄付金集めというイメージですが、例えば 1000 万円の寄付金であれば、グローバル補助金として 750 万円まで引き出すことができます。もちろん、それにはしっかりしたプロジェクトであることが条件ですが、意外と申請も難しくありません。利用しなければ、他のクラブに持っていかれると思って積極的に利用してください。

クラブ運営委員会

小柳会員



まずは、独立したそれぞれの委員会が、委員長の掲げた年次目標を 会員の協力の下に実行すること。そして、会員がその進捗状

況を定期的に共有するための例会づくり。このようなところに、私はクラブ運営委員長の仕事があるのではと考えております。

講評(杉戸中央)

ガバナー三國明様

「自分が何かの理由で、地域の活動から離れなければならない時、その最後に残るのがロータリーである」という小柳委員長のロータリーに対する思いは、本当に心に響きました。そして、「皆にとってもそう思わせるようなクラブ運営をしていきたい」という言葉に感銘をうけました。自分がなぜここに座っているのかを各々自分に問いかけなければいけないですね。

私に関して言えば、ロータリーに入り、知り合いや友達がたくさん出来たこと、これが一つの財産です。そして奉仕活動をして感動を味わうことができる、これがロータリアンである原動力です。ロータリーには、自分の人生にとって代え難いものを与えてもらったと考えております。

まず自分がロータリーに対し感謝や感動を味わえなければ、こういうクラブにしていきたいという思いは湧きません。是非皆さんで、ロータリアンである意味を考えてみてください。

講評(杉戸中央)

ガバナー補佐 田中昌夫様

杉戸中央ロータリークラブは、継続事業としての「あいさつ運動」「エコキャップ収集」が定着しています。昨年は、子宮頸がんの講演会、今年度は、杉戸町中高校の吹奏楽部支援のコンサートを企画しているということで、毎年、町を巻き込んだ素晴らしい事業を行っていると思います。



私は、たばこを止めて今年 5 月から、朝と昼にサイクリングをしています。今までたばこを吸っていた時間を 1 時間サイクリングに費やしているのですが、それまで気が付かなかったことが多くあるのに驚かされます。例えば、5 月田んぼに植えられた苗が、日々緑を濃くし、今では背丈が大きくなり実のついた稲穂になっています。毎日気にして見ていると、その成長ぶりが良く分かりますね。このように、少し視点を変えるとによって色々なことが見えてきます。クラブ運営も同じような事が言えるでしょう。各委員会が協力し、様々な視点からクラブを見ていくことで、今まで気が付かなかったことを発見するかもしれません。クラブあつての地区、RI です。皆さんでクラブの成長を見守り育てていってください。

杉戸・杉戸中央 RC 合同懇親会

合同公式訪問例会・クラブ協議会が無事に終了し、その後となりの部屋に場所を移し、懇親会が行われました。緊張した雰囲気から開放され両クラブとも和やかに親睦を深めました。

